

庁議の概要

開催日 平成27年5月11日（月）

◎項目

- 1 縣市連携の推進について【総務部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

1 縣市連携の推進について【総務部】

総務部より、資料に基づき縣市連携の推進について説明が行われた。

<説明の概要>

重要事項について高知市と連携を図る必要があることから、今年も8月26日に知事と高知市長での連携会議を予定している。

これに向け、個々の政策分野において、関係部局間での連携を深めるための協議を行いたいと、高知市から申し出があった。高知市の担当部局から県の関係部局に直接協議の申し入れが来ることになっているが、県から高知市に対して提案、申し入れすることも大いにあり得ると考えているので、よろしく願いたい。

協議の内容について、総務部で全体を把握する必要があるので、事前連絡、事後報告をお願いしたい。

2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 広域連携による取り組みの推進について

(危機管理部)

平成24年3月に中四国の広域支援に関する協定を結び、カウンターパート制を導入し、あわせて中国地方では5県でのカウンターパート制も結んでいることから、四国においても4県のカウンターパート制等の検討を今年2月から始めている。

また、あわせて、中四国と、中国と四国のそれぞれのカウンターパート制について、全体の支援・応援マニュアルを作っていこうという取り組みを始めている。

今年度は、まず四国のカウンターパート制をつくり、それから支援・応援マニュアルを作るよう進めていきたい。

(知事)

それは、県と県という形で作るのか。

(危機管理部)

そう。高知県なら、例えば愛媛県が第一、第二が香川、第三が徳島と順位をつけてい

く。

(知事)

東洋町と大月町だったら違うだろう。大月町だったら愛媛が一番の方がいいかもしれないが、東洋町なら徳島が一番の方がいいかもしれない。

(危機管理部)

3県すべてが全県の援助をするというような形で結んでいく。

(知事)

高知全域を一括して考えるのか、東部・中部・西部とか分けて考えるのかということだが。

(危機管理部)

3県が順次応援する形を考えている。

(知事)

高知の西部は愛媛が第一順位、高知の東部は徳島が第一順位とかした方がいいかもしれない。よく考えてみて。

(危機管理部)

分かりました。1対1ではなく、1対3の関係をつくらうとしている。

(知事)

1対3だったら、今でも一緒では。

(危機管理部)

協定はそう。主が愛媛になって、香川、徳島と調整をかけて支援するという形を予定している。

(知事)

東洋町なのに愛媛から行くのか。

むしろこういう協定を結ぶことが硬直化させてしまうということもあるかもしれないから、よく気をつけて。

○ まるごと東部博について

(観光振興部)

今年、日本旅行が高知県単県のパンフレット「食彩高知」を作っていただいているが、日本旅行の西日本の方々が集まる会議へ県とコンベンション協会で開催し、東部博を含め、「食彩高知」の販売のお願いをする。

また、東京、大阪のメディア系のエージェントについても、コンベンション協会と売り込みを積極的にしていこうと考えており、20日には例年行っている東京でのセールスキャラバンを、知事にもプレゼンをお願いし実施していく。

また、これに関連して、昨年度から始めている室戸市との観光振興に関する勉強会を、産業振興推進部とともに実施する。室戸市から市長、副市長をはじめ市の職員 30 人ほどに来ていただいて、観光と産業振興に関しての勉強会をする。

(知事)

今年度の東部との関係で一番大事なことは、「まるごと東部博」をやりきることでもあるが、むしろポスト東部博。そのポスト東部博に向けた良い協議が室戸市とでき

るといい。ぜひそのところをよろしく。

(観光振興部)

はい。意識して取り組んでいる。